

三人姉妹は
俺に奉仕中ですよ？



1 冊あつて3冊あつて5冊あつて6冊あつて7冊あつて8冊あつて9冊あつて編

二十八歳の夏

僕は都内の

中堅AV製作会社で

「ざつようがかり」

として働いていた。



七月のある日

監督にだみ声で

呼ばれた時から

西くん



ちよつと来て。

僕の地味な人生は
激変した。

なんででしょう。



新しい仕事
入ったよ。

はい。



うちの社長がさ…

ヤ○オクに
変な出品してたろ。

「都内の一流（自称）映像制作会社が
あなたのプライベートムービー
撮影します。良い女優そろってます。
落札価格三百万円から」

それがついに
落札された。

その落札者の
資産家はな…



「美人巨乳の黒ギャル三姉妹に」
「海辺で踏まれるムービー」がお望みなんだと。

く、黒ギャル

三姉妹…

その上
美人巨乳…。

無茶だよな。

特にな「三姉妹」
という条件に

えらく執着してる。

明日までに。

キツイだろうが
条件に合う「三姉妹」
を見つけてくれ。

げえっ！
キツイっすよ！

本当にキツイ…

单体でも美人巨乳って

ハードル高いのに

それが×3ってアホか。

少子化時代に

三姉妹かよ

とりあえず都内の
黒ギヤルバーにでも
行くか…。

そんなわけで
渋谷に向かう
バス停の方へ
向かうと…

…えっ！



一瞬夢をみているのかと思った…

バス停留所の

ベンチには

「美人」「巨乳」

「三姉妹」という条件を

完璧にクリアした子達がいた。

残念ながら黒ギャルでは

なかったが。

その子たちは

それぞれ個性的だけど

ひと目で「姉妹だなあ」

と感じる何かがあった。

あの君たち…
姉妹だよね。

はい。
そうですけど…





長女
天崎 エリカ
 職業：キャパ嬢
 おっぱい：Jカップ
 特記：ロシアンハーフ
 上京して二年目

むしろ周りに
 バレないだろ。

黒い塗料かければ…

次女

天崎 里穂

職業：飲食店バイト
 おっぱい：Gカップ
 特記：隠れヲタ女
 上京して二週間目

黒ギャルじゃないし。

実家の親や友達に
 ばれたら面倒だし。

水着で？いやだあ。

三女

天崎 蛍

職業：学生
 おっぱい：Dカップ
 特記：視力低め
 上京して二週間目

姉妹で海辺で撮影？

全員父親は
 違う姉妹だよ。

いいの？



そうだよ！

君ら色白だから
 塗料かければ

親バレ友バレ
 する危険なし！

待遇は保証する
 時給ピ〜円！
 水着で
 おっさんを
 踏むだけの
 簡単な仕事！

そんなわけで
街で出会った三姉妹に
撮影に協力して
もらうことになった。

じゃ、カメラ
テストしまーす。

次女と三女は

実家を飛び出して

上京2年目でキャパ嬢を

している長女宅に

2週間前から

住んでいるそうだ。

：複雑な家庭なのか？

かわいいから
緊張しないでね。

えっと

この人…

踏むの？

容赦なく
思いっきり

踏みしだいて
ください。

資産家の
おじさん

はあ

はあ



とびきりよ

よくあんな逸材
見つけたね。

依頼主も大満足。

よっと

エイ

しかし、彼女らから私的に連絡が来たことはない。「あの、お金に困っていてAV出演したいのですけど」という業務依頼ならマレにあるが。



撮影終了後
次女に
名刺を
渡した。

あ……



うん♡

困ったこと
あればおいでよ。
部屋余ってるし。

ははは……



港区白金？

すごい。

業務用の名刺なのに
自宅住所が印刷して
あるのは女の子が
大抵こういう反応だから。

まあ、もちろん「業務依頼」
のために名刺を配るわけだが…
それにしても、
オレ個人の携帯には決して
連絡は来ない。

この貧相なネズミ顔
のせいだと思う。

みんな会社に電話してくる。
AV製作の下っ端の貧相な
男が白金住まいとかいっても
ヤリ部屋なんじゃねーかとか
思われちゃうのか。

実際はヤリ部屋でもなんでもなく
海外転勤している金持ちの友達の家
に格安料金を貸してもらっているだけだ。

このモデルルームのような広い部屋で
今日も明日も明後日もひとり
コンビニ飯を食うのさ。

スニマヤ…!

おしゃべり…!

おしゃべり…!

おしゃべり…!

おしゃべり…!

へ、物音？誰？
ど、どろぼう？

やべ、ドアの鍵
かけ忘れてた。

パタパタ

く、来る
何か来ちゃう！

カチャ

こんにちわー。

勝手に入って
ごめんなさい。

挨拶しなさい。

ざん

インターホン
壊れてたから……

ほら、蛍
このお兄さんに

しばらく
お世話になるのよ。

こ、こんにちわ。

スルヤ



な、何だあ？

いきなり…

突然押しかけて
ごめんなさい。

私達を、しばらく
ここにおいて。

とつてもとつても
困っているの♡

聞けば、長女の
アパートの大家が
亡くなり
アパート自体が
取り壊されること
になり急遽立ち退きを
命じられたという。
途方にくれていた
ところ
「困ったことがあれば
おいでよ」
というオレのセリフを
思い出したそうだ。
確かに言ったが…

まさか三人
まとめてとは…

いや…
ここは腹を
くくろう。

わかった。

ただし
条件がある。

僕はきれい好きなんだ。

三人分の衣類から
でるワタボコリには
耐えられない。

ここにいる間は
水着着てくれる？

巨乳姉妹の
むっちり水着
見放題。

我ながら
ゲス条件だ。

しかし、こっちは
気儘な一人暮らしを
終わらせるのだから

これくらいの条件は…

すごい！
なんて好条件！

たったそれだけでこの二等地に
住まわしてくれるなんて

私と姉さんで
交互に夜伽しろとか
言われるのを覚悟してたのに

まあ、なんて
欲がない人なの

AV関係のしごとしていると
セックスなんて興味なくなるのね。



確かにホコリ
たたないよな。

水着ってさー

キニシクさーな

布の表面積
小さいものね♡



ごめん！撤回する！
水着はいい！！

よとぎ

よとぎ

むしろ全力で
夜伽して！

どき
どき



.....



違うと思うわ。

ごとくがあるから

IHか、これ？

かつこいー
キッチンだなー



姉たちは昔から
マイペースで

驚くほどに

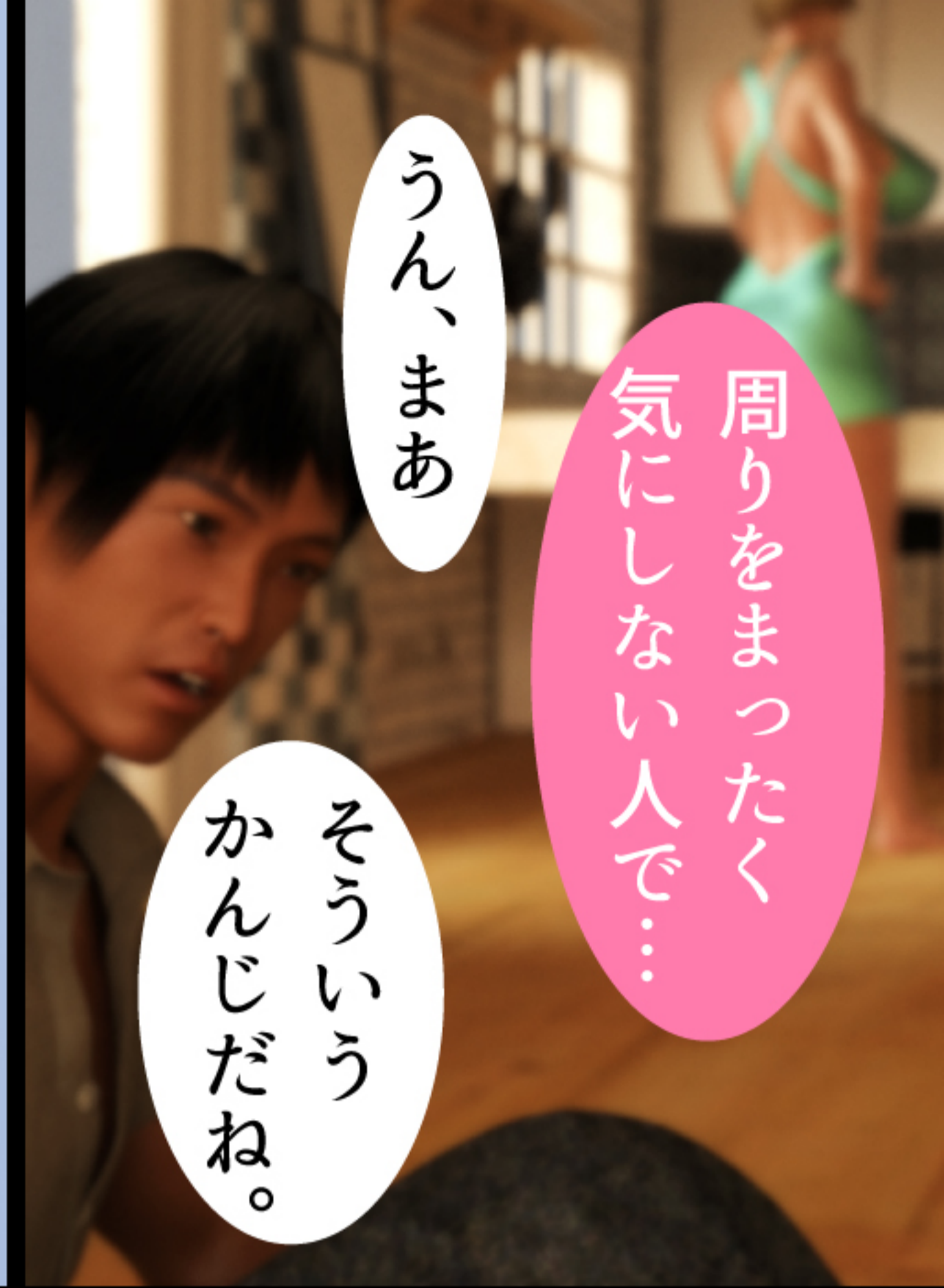
あの

すみません。



あ…

やだ



うん、まあ

そういう
かんじだね。

周りをまったく
気にしない人で…



え…

はい
食べなよ。

待ってて。

お腹
空いているの？

ありがとうございます…

ぽつぽつと蛭が実家のことを話してくれた。

母親が次女の里穂の元カレと暮らし始めて

姉妹でブチ切れて

二週間前に

姉を頼って

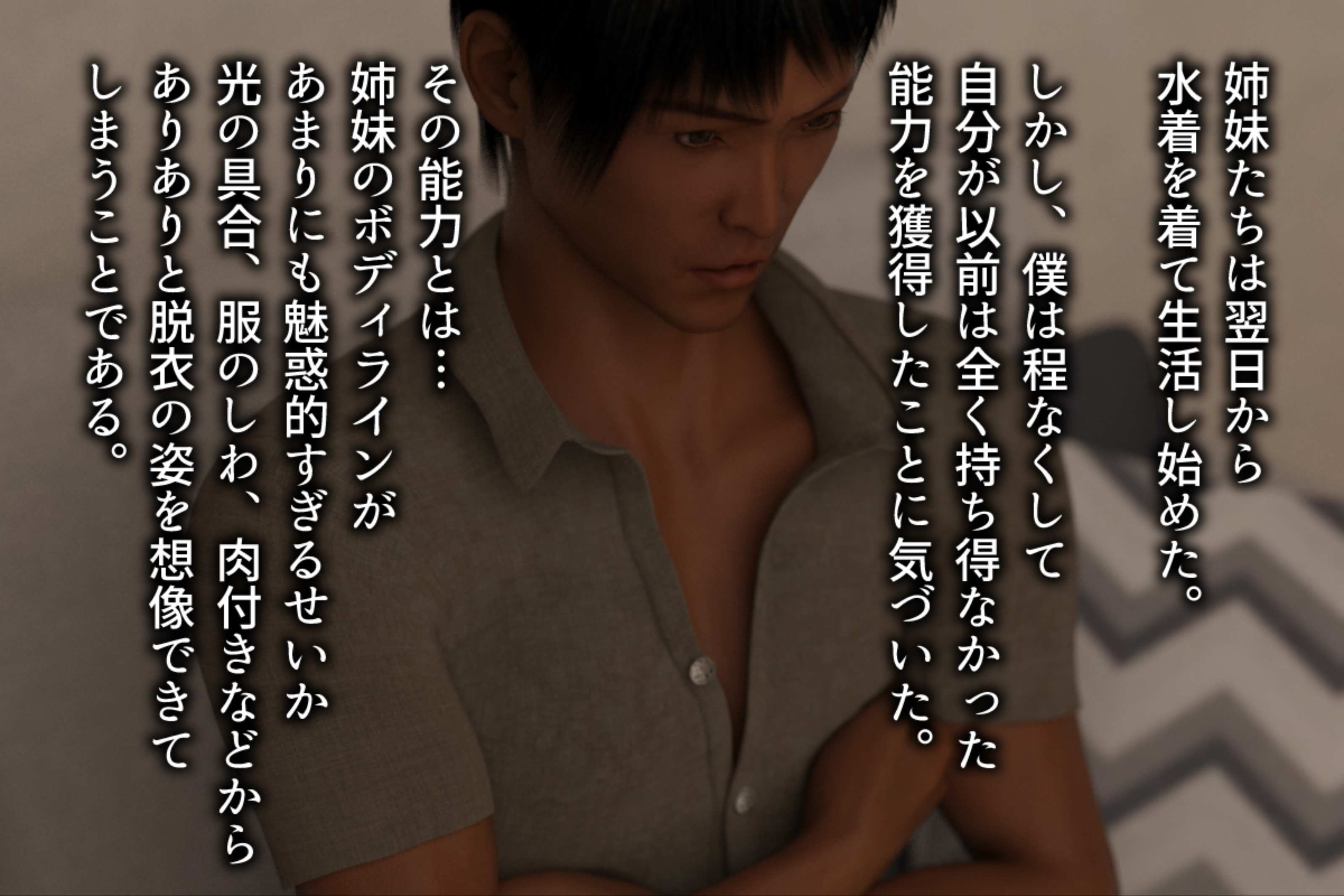
上京したということだ。

(161)つ

蛭の学校は夏休み中だが休みが終わっても帰りたくないと言っていた。

まあ、そんな複雑な事情の姉妹と暮らし始めたのであった。





姉妹たちは翌日から水着を着て生活し始めた。

しかし、僕は程なくして自分が以前は全く持ち得なかった能力を獲得したことに気づいた。

その能力とは：


姉妹のボディラインが

あまりにも魅惑的すぎるせいか

光の具合、服のしわ、肉付きなどから

ありありと脱衣の姿を想像できて

しまうことである。



つまり通常ならこういう状態が



僕にはこう見える。



こう見える。



こう見える。

き、君たち!!!

めちやくちやマイペースに
過ごしているけど

はあ
はあ

君らのせいで
僕は、僕は

変態的な視姦体質に
なってしまった!!!

こうなったら
おわびにの印に

夜伽すべきだ!

そうとも!

な、なんといいな言いがかかり...。
呆れて姉妹たちは出て行く
かもしれん。
でもいい! スツキリした!

はあ?

ひいたっ





お、おう。

そんなに
たまってるなら

ちやんといつて
くれればいいのに。

くすっ

水着が透けて
みえるってこと？

ねえねえ

視姦体質って？





そうね…

また「かんとんなお仕事」
紹介してくれるなら

夜伽して

あげてもいいよ♡

黒ギャルになって
海辺で撮影するよな。



童貞だよね。

じゃあ処女の
方がいい？

え、そりゃあ…



うん、黒けりや誰にも
バレないしな。

あ、待って



じいっ

はよ



虫ごうする？
なーんて、冗談よ。

うん？



ウブねえ。

っ…

顔真っ赤だよ。



かあっ

げ、メガネとると美少女…
まあ、想像はできたけど。

姉さんがこの人
とするなら

私もする。

ちよつと、蛍…
この人ブサイクだよ。

ひどい！

そうでもないよ。

その言い方
余計傷つくわ！

わかった…

蛍は頑固
だからね。

じゃ、三人でしょ。

じゃ、まず

セックスのための
準備体操からね。

すっ

あっ…♡

T&A

T&A

しっしっ

